



## 2007 SCCN OCTOBER RACE MEETING in TSUKUBA

# 大会特別規則書

開催日 : 2007 SCCN OCTOBER RACE MEETING in TSUKUBA  
2007年 10月 7日(日) 公式予選・決勝レース

開催場所 : 筑波サーキット

主催 : ニッサンスポーツカークラブ (SCCN)

プロモーター : 株式会社 エヌ・スポーツ

公認 : 日本自動車連盟 (JAF)

協力 : マーチカップアソシエーション  
モンスターモータースポーツアソシエーション  
ロータスカップ・ジャパン・アソシエーション

## 公 示

本競技会は、日本自動車連盟 (JAF) 公認のもとに国際自動車連盟 (FIA) の国際モータースポーツ競技規則及びそれに準拠した JAF 国内競技規則、とその他付則並びに、筑波サーキット一般競技規則書、本競技会特別規則書により準国内競技として開催される。本規則には、モンスターモータースポーツアソシエーション発行の「モンスターワールドレースシリーズ2007」、ロータスカップ・ジャパン・アソシエーション発行の「競技規則・車両規則」、及びマーチカップアソシエーションが含まれる。

**第1条 競技会の名称** : 2007 SCCN OCTOBER RACE MEETING in TSUKUBA

**第2条 オーガナイザー** : ニッサンスポーツカークラブ (SCCN)  
代表者 山梨 一成  
所在地 東京都品川区南大井 2-10-6  
TEL 03-3763-8010  
FAX 03-3766-6637

**第3条 競技会会長** : 山梨 一成

**第4条 競技会組織委員会** : 委員長 安藤 康彦  
委員 山本 修二  
委員 安齋 友望

**第5条 競技会審査委員会** : 委員長 岡 政由  
委員 木村 芳郎  
委員 篠原 孝道

**第6条 競技執行役員** : 競技長 三好 隆幸  
副競技長 山本 修二  
コース委員長 北島 美昭  
計時委員長 金塚 隆一  
技術委員長 鈴木 明良  
救急委員長 松崎 克実  
医師団長 渡辺 善徳  
事務局長 山住 俊浩

**第7条 開催場所** : 筑波サーキット (1周 2.045 km)  
茨城県下妻市村岡 159  
TEL 0296-44-3146

**第8条 開催日** : 2007年10月7日(日)車両検査・予選・決勝

**第9条 レース区分、周回数、決勝出走台数**

レース区分	略 称	周回数	完 走 周回数	決 勝 出 走 台 数
ニッサンマーチカップ	マ <sup>チ</sup> カ <sup>ッ</sup> プ	1.2周	9周	3.0台
フォーミュラ集	FS集	1.8周	1.3周	3.0台
フォーミュラケイ	FSケイ	1.5周	1.1周	3.0台
スワフトスポーツ	スワフト	1.2周	9周	3.0台
Newスワフトスポーツ	Nスワフト	1.2周	9周	3.0台
ロータスカップジャパン	ロータス	1.2周	9周	3.0台

※参加台数が少ない場合は他のクラスと混走になる場合がある。また、参加台数が多い場合、予選を2クラスで実施する場合がある。  
※参加台数が決勝出走台数より11台以上ある場合は、コンソレーションを実施する場合がある。この場合の周回数は、公式通知で発表される。

### 第10条 参加車両

- 本競技会への参加を許される車両は、2007年度国内競技車両規則に従った以下の車両とする。
  - マーチカップ  
マーチカップアソシエーション発行の「2007 Regulation Book」に合致した車両。
  - スワフトスポーツカップ・Newスワフトスポーツ・FS集・FSケイ  
モンスターモータースポーツアソシエーション発行の2007年度「シリーズ車両規則」に合致した車両。
  - ロータスカップ・ジャパン・アソシエーション発行の「Regulation Book」に合致した車両。
- 参加車両規定の補足規定
  - 筑波サーキット一般競技規則書に記載の通り、カメラ (ビデオ) 等の搭載は有料となる。尚、搭載が認められた車両については、公式車両検査時に取付方法等の検査を受けること。

### 第11条 参加申込

- 受付期間: 9月3日(月)~9月12日(水)
- 受付場所  
ニッサンスポーツカークラブ (SCCN)  
住 所 〒140-0013 東京都品川区南大井 2-10-6  
TEL 03-3763-8010  
FAX 03-3766-6637

#### 3. 提出書類

- 参加申込書
- 保険加入申込書又は、保険加入済申告書 (参加申込書裏面)
- 車両改造申告書又は、車両仕様書  
いずれも所定の書式に必要な事項を記載、署名捺印の上受付期間内に申込むこと。
- 参加受理又は拒否の通知  
参加申込みの受付締切後に、エントラント宛参加受理又は、参加拒否の通知を発送する。参加を拒否されたエントラントに対しては、参加料、保険料は返還する。
- 参加車両名は15文字以内とし、公序良俗に反するものであってはならない。F J の参加車両名にはジャーシー・コンストラクター名を入れなければならない。  
例、○○○○マーチ  
漢字、ひらがな、カタカナ、ローマ字、点等全て1文字と数える。  
15文字を越えた申請は、車名を残し、オーガナイザーが15文字以内に訂正する。  
15文字は、ドライバー、ピットクルー全員、招致したゲストに対し諸規則の遵守と安全の確保について徹底させておく義務があり、万一ドライバー及びピットクルー、招致したゲストが規則違反した場合、事故を起こした場合、事故に遭遇した場合は、その責任を負わなければならない。

### 第12条 参加料、保険料

- 参加料 (1台につき)  
スワフトスポーツ・Newスワフトスポーツ・FS集・FSケイ ……協会規定による  
ロータスカップジャパン ……協会規定による  
ニッサンマーチカップ ……¥36,750。(クラブメンバー:¥33,750)

※参加料はすべて消費税 (5%) を含んだ金額です。

- 保険料 (未加入者)  
ドライバー・ピットクルー 各々1000円  
(JMRCスポット会員になって頂きます。)

※JMRC及び筑波モータースポーツ共済会に加入している場合、その旨を申告すること。  
※ドライバーは900万円以上、ピットクルーはそれぞれ400万円以上の保険に加入しなければならない。既に加入済のものは、その旨を定められた書式によって申告するものとし、加入保険金額が上記の額に満たない者はその不足分について必ずオーガナイザーが指定する保険に加入しなければならない。

- 保険金の支払: 保険金の支払は、JMRC保険支払方法または筑波共済会の方法に基づく。

### 第13条 参加資格

- エントラントは、2007年度有効な JAF 発給の参加者許可証の所持者であること。
- ドライバーは、2007年度有効な JAF 国内競技運転者許可証 A クラス上の所持者であること。20歳未満のドライバーは、参加申込書に親権者の署名捺印をし、承諾書を提出すること。
  - ニッサンマーチカップレース  
マーチカップアソシエーション発行の「Sporting Regulation」による。
  - スワフトスポーツ・Newスワフトスポーツ・FS集・FSケイ  
モンスターモータースポーツアソシエーション発行の「競技規則」による。
  - ロータスカップ・ジャパン  
ロータスカップ・ジャパン・アソシエーション発行の「競技規則」による。
- ピットクルー
  - 競技に参加が許されるピットクルー  
16才以上で参加者に指名登録された者で、保険手続きが完了した者でなければならない。JMRC保険(スポット会員)に加入すること。

### 第14条 改造申告書

参加車両は、変更又は改造の詳細を (規定の範囲内で変更を行っている場合であっても) 改造申告書に記入し、参加申込みの時に提出しなければならない。これを怠ったり、虚偽の内容であることが判明した場合は、参加を拒否されるか、失格とされる場合がある。但し、車検1時間前までに改造申告書の修正あるいは再提出ができる。

### 第15条 公式車両検査

- 参加車両の公式車両検査は公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域内にて行われる。
- ドライバーは車両と共に集合しなければならない。公式車両検査締切以後の遅刻者は競技会審査委員会が不可抗力による事情と認めた場合を除き出場を拒否される。
- 公式車両検査を受ける参加車両の燃料は、全て取られなければならない。抜き取った燃料は、参加者の責任において、安全に保管されなければならない。但し、NR-Aの車両に限っては、各規則による。
- ドライバーは公式車両検査と同時に運転免許証、競技運転者許可証、ヘルメット、バクララ帽、レーシングスーツ、レーシングシューズ・アンダーウェア(推奨)・ソックス(推奨)等の点検を受け、出場資格について確認を受けなければならない。
- 技術委員長は、安全性について不適当と判定した個所について修正を命ずることができる。
- 車両検査後の車両には規定以外の変更改造を行ってはならない。違反した場合は失格とする。
- 参加者は車両検査の際、技術委員長の要求があれば自己の参加車両の公認書を提出しなければならない。
- 技術委員長はレース期間中に必要に応じ随時検査を行うことができる。

### 第16条 競技番号

- 参加車両は、競技会事務局によって定められた競技番号を付けること。尚、競技番号の決定に対する特別な要求は受け付けられない。
- 記入箇所は、フロント中央と車体両側中部及びルーフ中央の4カ所を原則とし、車体の後部にも記入箇所が定められる場合もある。但し、各レース区分の規定に定められたものはその規定に従わなければならない。
- フォーミュラ車両はフロントポネル中央と車体両側中部の3カ所とする。
- 競技番号は、公式車両検査と同時に技術委員会によって点検後、コース委員等が判読しにくいとみなされた場合は修正を要求されることがある。

### 第17条 ビット作業

- レース中ビット・インした車両に対しては、登録された監督とピットクルー (3名) とそのドライバーのみが停車区域で作業を行うことができる。
- ビット作業の場所を除いて、ピットクルーはビットから出て停車区域に立つことを禁止される。また、工具・部品等を予め停車区域上に置いてはならない。作業終了後は速やかに、取りかたづけなければならない。
- 走行中のドライバーに対してのビットサインは、登録されたピットクルーが行うものとし、各自のビット内で行わなければならない。
- ビット内の喫煙、その他火気は一切厳禁されると共に、登録されたピットクルー以外のものが、ビット内に立ち入ることも禁止される。これらに対しては、消火器その他のビット内の機材の保全と共に、当該チーム監督が管理にあたるものとする。
- 予選・決勝終了後は速やかにビットを明け渡さなければならない。これに違反した場合は罰則の対象とする。

### 第18条 ビットレーンの速度規制

筑波サーキットのビットレーンの通過制限速度は40km/h以下となっている。

### 第19条 公式予選

- 公式予選はタイムトライアルによって行い、以下の方法によってスターティングポジションを決定する。予選ベストラップタイムの上位よりレース区分に従った決勝出走台数を予選通過者とし、スターティングポジションをタイム順に決定する。但し、同一ベストラップタイムを記録した場合の先順決定は、ベストタイムを早く記録したものを優先し、ポールポジションは原則としてイン側とする。但し、予選を2組 (A、B) に分けて行う場合は、各組のベストラップタイム順にその組ごとのスターティングポジションが与えられる。ポールポジションは原則として2組を通じてベストラップタイムを記録した組をイン側とする。
- 公式予選中は、ピットロード出口に緑・赤のライトが設けられる。車両は、緑のライトが点灯している時のみコースインする事が出来る。
- 予選通過車が決勝出走台数に満たない場合は、競技長の判断と競技会審査委員会の承認によって予選不通過車に対し最後尾よりスターティンググリッドを与えることができる。但し、そのドライバーは、出走履歴書 (手数料として1件10,500円) を競技会事務局に提出しなければならない。

### 第20条 車両交換及びドライバーの変更

- 参加申込正式受理後の車両交換は、参加車両に故障、破損等のやむを得ない事情がある場合に限り、その理由を付けて変更手数料 (10,500円) を添え競技会事務局に提出し、競技会審査委員会の承認を得た上でその車両が公式車両検査時間内に合格していなければならない。但し、本規則に定める規定に一致した同部門同クラスであること。
- 参加申込正式受理後のドライバーの変更は、ドライバーに疾病、けが等やむを得ない事情がある場合に限り、公式予選日の参加確認時までに、その理由を付けて変更手数料 (10,500円) を添え、競技会事務局に提出し、競技会審査委員会の承認を得なければならない。但し、ドライバー変更は、同一エントラントの場合でのみ変更が可能となる。

## 第 2 1 条 車両保管

- 公式予選に通過した車両は、指定の保管場所(車両待機場所)に必要な時間保管される。
- 保管場所(車両待機場所)からの車両の出入りは、すべて競技役員 の指示に従わなければならない。
- 保管中の車両を参加者(ドライバー)が修理あるいは点検する場合は、その理由を所定の文書に記入し、手数料(1 0、5 0 0 円)を添え、競技会事務局に提出し、技術委員長の承認を得た上、所定の時間内に行くこと。但し、持出した車両の再検査は出走前点検の以前に終了していること。

## 第 2 2 条 スタート

- スタート方式：スタンディングスタートとする。
- グリッド：全レース、スタッガードとする。
- フォーメーションラップ
  - ダミーグリッド(グリッド上の配置)についている車両で、エンジンが始動ができない場合、全車両がフォーメーションラップに出発した後、一旦自己のピットに押し進める。この車両はレースがスタートした後、全競技車両が第1 コーナーを通過した直後にピットエンドからのスタートが許される。又、フォーメーションラップに出遅れた車両及びフォーメーションラップの途中でスタート順序の位置を保てなかった車両は、いかなる競技車両も追い越すことは許されず、グリッドの最後尾の車両の方向からスタートしなければならない。
  - フォーメーションラップ中、競技車両はピットインすることができるが当該車両はレースがスタートした後、全競技車両がピット出口を通過し、ピット出口の信号灯に緑色ランプが点灯することによりピット出口からスタートが許される。
- スタート合図
  - 全レースのスタート合図はシグナルランプによる。赤点灯→消灯(消えた際にスタートとなる)
  - スタート合図後1 0 秒を経過してもスタートできない車両は、競技役員 の指示に従って自己のピットまで押し戻し、修理の後レースに参加できる。

## 第 2 3 条 競技中の規定

- ドライバーは競技車両を走路に沿って押し進めたり、あるいは車両を押し進めてコントロールラインを超えてはならない。
- レース中、ガソリン、オイル等のすべての液体の補給は一切認めない。
- セーフティーカー
  - セーフティーカーに関する規定は国際モータースポーツ競技規則付則H項の規定を適用する。
- レースの中断及び再スタート
  - 安全を確保の為緊急にレースを停止させる必要がある場合は、競技長の決定によりスタート／フィニッシュラインに於いて赤旗を表示する。赤旗の表示と同時に監視ポストでも赤旗が表示される。ドライバーは直ちにレース(競技)を中止し、細心の注意を払いながら最徐行で移動し、赤旗ラインで停止しなければならない。赤旗ラインは筑波サーキット一般競技規則書第31条1、2(ピットインを含むコントロールライン)とする。
ケースA：先頭車両が2 周回を完了する前にレースが中断された場合、車両は赤旗ラインに停止すること。
    - 当初のスタートは無効とみなされる。
    - 当該スタートに参加したすべてのドライバーは当初の車両でスタートする事ができる。
ケースB：先頭車両が2 周回を完了し、走行した距離が7 5 %未満でレースが中断された場合、車両は赤旗ラインに停止すること。
    - 競技は2 つのパートに分けられるとみなされ、順位は第1 / 第2 パートでの周回数を合算し、同一周回数の場合は第2 パートの順位で決定されるものとする。
    - 第1 パート(既に行われたレースの部分)の順位は、レース中断の合図が出された時点で先頭車両が完了した周回の1 周前の周回完了時点の順位とする。
    - 第2 パートのグリッドは第1 パート終了の順位に従いスタンディングスタートとし、レース周回数は減算される。
    - 第2 パートには第1 パートにおいて順位決定を受けた車両のみがスタートできる。
    - この場合、第1 / 第2 パートの周回数を合算し、同一周回数の場合は第2 パートの順位に基づき決定される。
ケースC：先頭車両がレース距離の7 5 %以上を走行した後にレースが中断された場合
    - レースは先頭車両が完了した周回の1 周前の周回完了時点で終了したものとみなされる。
    - 順位の決定はレース停止の周回を無効とし、レース停止直前の順位により決定する。
(2) レースが停止され再スタートまで
    - 赤旗が表示されてから1 0 分後にピットロード出口は閉鎖され、それ以後はピットスタートとする。
    - 赤旗が表示されてから1 5 分後にスタート5 分前のボードが表示されスタートグリッドを閉鎖する。
    - スタート5 分前のボードが出される前にスタートグリッドにつけない車両は当該ピットへ誘導され、又はピットに留まり、ピットスタートすることができる。
    - ピットスタートをする車両は、競技役員 の指示に従わなければならない。ピットスタートする車両はピットロードの出口に待機し、レースがスタートした後、全競技車両が第1 コーナーを通過した直後にピットエンドからのスタートが許される。
    - 再スタートできる車両は赤旗表示の際、自力で赤旗ラインまで走行したもので

且つ技術委員長が再スタートを認めたものに限る。

- 再スタートの時間は競技会審査委員会が必要と認めた場合は延期することができる。
- 再スタートはスタンディングスタートとする。
- 車両の作業
  - 赤旗表示中は車両の修理・調整はできない。
  - 赤旗が撤去されると同時に車両の修理・調整の作業はできる。競技会審査委員会が許可した場合を除き燃料補給及びタイヤ交換はできない。

## 第 2 4 条 レース終了

- 順位決定
優勝車両はそのレースの距離を最短時間で走行した車両とする。その他の順位は周回数とコントロール・ラインの通過順によって決定される。また、各々の最終周にピットインした場合でもピットレーン上のコントロールラインを通過すればチェッカーフラッグを受けたものとする。
優勝車両のレース距離の7 0 %に満たない車両には順位の決定は行わない。
- レースの終了
先頭車両がコントロールラインを通過すると同時に、そのレースは終了する。レース終了後3 分を経過した時点で全ての走行は完了する。なお、チェッカーフラッグを受けた後の追越しは禁止される。但し、コントロールライン付近でのやむを得ない追越しはこの限りではない。レース終了は、チェッカーフラッグによって表示されるが、万一、先頭を走行する車両が定められたレース距離を走破する前にチェッカーフラッグが誤って表示された場合であっても、レースはその時点で終了したものとして順位が決定される。これと反対に、先頭を走行する車両が定められたレース距離を終了した後にチェッカーフラッグが表示された場合であっても、定められたレース距離が終了した時点でレースは終了したものとして順位が決定される。

## 第 2 5 条 レース終了後の車両保管・再車検

- レース終了後の車両保管は、レースに参加した全車両について行われる。車両は、レース終了後所定の場所に保管される。
- 入賞車両及び、抗議の対象となった車両についてはレース終了後に車両の分解等によって再車検を行う場合がある。
- 技術委員長は、スタートした車両に関して技術的な再車検を行う権限を有する。技術委員長が再車検を行う際は、参加者もしくはその代理人が責任を持って車両の分解、組立を行なわなければならない。
- 技術委員長が行なう本条項の再車検に応じない場合は失格とする。

## 第 2 6 条 レースの延期・中止・短縮

- 本競技会のレースは保安上又は、不可抗力による特別な事情が生じた場合は競技会審査委員会の決定により延期、中止、あるいはレース距離の短縮を行う場合がある。
- 各レース区分の参加申込台数が1 0 台に満たない場合は、そのレースの挙行を中止、レース区分の合併、レース距離の短縮を行う場合がある。

## 第 2 7 条 公式通知

- 本規則に記載されていない競技運営に関する実施細則及び、参加者への指示事項は公式通知によって示される。

## 第 2 8 条 抗議

- 参加者は、自分が不当に処遇されていると判断した場合、これに対して抗議する権限を有する。但し、本規則に規定された出場拒否、および審判員の判定に対する抗議は受け付けない。
- 抗議は文書により行い抗議料として1 件につき2 0、3 0 0 円を添え競技会事務局に提出しなければならない。
- 役務に付いている競技役員は、たとえ抗議が提出されている場合であってもそれとは関係なく自己の権限と役務を正当に執行する。
- 参加車両に対する抗議は、1 ヶ所に付き1 件とし、抗議対象となる個所を明確に記入すること。抗議によって必要とされる車両の分解費用等は、その抗議が却下された場合は抗議提出者が、成立した場合は抗議対象者が支払わなければならない。またこの車両の分解等に要した費用は技術委員長が算出する。

## 第 2 9 条 抗議の制限

- 車両または、ドライバーに対する抗議は、その競技スタート1 時間前までとする。
- 技術委員又は、車両検査委員の決定に対する抗議は、決定直後に提出しなければならない。
- 公式予選の結果に関する抗議は、結果発表後3 0 分以内とする。
- レース中の誤り、不正行為等に関する抗議は、競技終了後3 0 分以内とする。
- 競技の成績に関する抗議は、暫定結果発表後3 0 分以内とする。

## 第 3 0 条 抗議の裁定

- 競技会審査委員会の裁定結果は、関係当事者に通告後、公表される。
- 競技会審査委員会において審議の結果、ただちに裁定が下されない場合は発表の日時と場所を明示して裁定を延期する。

## 第 3 1 条 賞 典

- スイフト、Newスイフト、FS隼、FSケイ

オーガナイザー賞	J A F 賞	賞金
優勝	トロフィー	メダル
2位	トロフィー	メダル
3位	トロフィー	メダル
4位	トロフィー	

- |          |         |     |          |         |
|----------|---------|-----|----------|---------|
| 5位       | トロフィー   |     |          |         |
| 6位       | トロフィー   |     |          |         |
| マーチカップ   |         |     |          |         |
| オーガナイザー賞 | J A F 賞 | 日産賞 | BS賞      |         |
| 優勝       | トロフィー   | メダル | ¥150,000 | ¥50,000 |
| 2位       | トロフィー   | メダル | ¥120,000 | ¥30,000 |
| 3位       | トロフィー   | メダル | ¥100,000 | ¥20,000 |
| 4位       | トロフィー   |     | ¥80,000  | ¥10,000 |
| 5位       | トロフィー   |     | ¥60,000  | ¥5,000  |
| 6位       | トロフィー   |     | ¥50,000  | ¥5,000  |

- ロータスカップジャパン(賞金はClubman Classのみ)

オーガナイザー賞	J A F 賞	賞金	
優勝	トロフィー	メダル	¥150,000
2位	トロフィー	メダル	¥80,000
3位	トロフィー	メダル	¥60,000
4位	トロフィー		¥40,000
5位	トロフィー		¥30,000
6位	トロフィー		¥20,000

賞金は参加台数により、金額・賞金順位が変更される(規則書を参照)

## 第 3 2 条 賞の制限

- 賞典はその対象となるレース区分の決勝出走台数が下記の場合次の通り賞を制限する。

3	台……………	1位のみ	8～9台……………	1位～4位
4	～5台……………	1位～2位	10～11台……………	1位～5位
6	～7台……………	1位～3位	12台以上……………	1位～6位
- 但し、各シリーズ規則などで制限が有ればシリーズ規則による。

## 第 3 3 条 参加者及び、ドライバーの遵守事項

参加者、ピットクルー、ドライバーは公式予選、レースを通じて次の事項を守らなければならない。

- 国際モータースポーツ競技規則とその付則、並びに国内競技規則及び本競技会特別規則書、運営上のあらゆる規定、競技役員 の指示に従うこと。
- 常にスポーツマンとしての品性を保ち慎重に行動し、軽率な言動を慎むこと。また、薬品等によって精神状態や肉体的構造をつくろってはならない。
- 競技中および、競技に関する役務に付いているときは全ての競技終了までの間、酒気を帯びてはならない。また、指定された区域以外での喫煙は厳禁する。
- 競技会期間中は、オーガナイザーによって給付されたクレデンシャルを必ず着用していなければならない。

## 第 3 4 条 損害の保証

- 参加者は、参加車両及びその付属品が破損した場合、理由の如何を問わずその責任は各自が負わなければならない。
- 参加者、ピットクルー、ドライバーはオーガナイザー及び競技会役員が一切の損害責任を免除されていることを了承しなければならない。競技会役員は、その役務に最善を尽くすとはもちろんであるが、役務遂行によって参加者、ドライバー、ピットクルーが負傷又は、死亡し、あるいは車両の損害が発生した場合であってもオーガナイザー、競技会役員は一切の責任は負わない。

## 第 3 5 条 本規則の解釈

本規則及び、本競技会の競技に関する諸規則や公式通知の解釈について疑義が生じた場合、参加者は文書によって異義申立てが出来る。これに対する回答は、競技会審査委員会の決定を最終的なものとする。

## 第 3 6 条 本規則の違反

本規則に対する違反の裁定は、競技会審査委員会が行い訓戒、罰金、黒旗によるピットストップ、ピットスルー、周回数の減算、タイムの加算、出場停止、失格等が違反の軽重によって適用される。

以上

本規則はJ A F に提出中です。許可が下り次第正式な規則となります。

2007 SCCN OCTOBER RACE MEETING in TSUKUBA  
 競技会組織委員会